

その他の地域貢献

●地域社会の発展を願って

当行は地元金融機関として、金融面をはじめ情報の提供や人材の派遣などを通じて、地域の活性化に積極的に取り組むことにより、地域とのふれあいの輪をより大きく、大切に育んでいきたいと考えています。郷土のさまざまな行事にも進んで参加し、明るく活気のある地元の雰囲気づくりに貢献しています。

また、各営業店では、明るく住みよい街づくりのために地域に根ざした小さな親切運動を実施し、清掃をはじめとした活動を続けており、豊かな郷土と住みよい生活環境づくりを応援しています。



●地元行事への参加

各地で開催されるお祭りや行事に積極的に参加し、身近な“きょうぎん”として地域の皆さまとの触れ合いを大切に活動しています。平成18年8月の「栄の国まつり」には当行から総勢80名が参加。また、11月には国際的にも有名になった「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」に当行バルーンクラブのメンバーも出場し活躍しました。各地イベントで地元の皆さまを乗せての係留飛行なども行っております。

●創立記念ボランティア

平成18年11月25日に創立記念ボランティアを開催しました。日頃からお世話になっている地元の皆さまに感謝の気持ちを込めて、第一回目は佐賀市街の清掃活動を実施しました。行員と家族を含む103名がお揃いのきょうぎんブルーのTシャツを身に纏い、ゴミ袋を片手に約1時間かけて佐賀の街を歩いて清掃しました。



●献血ボランティア

平成19年4月2日に本店駐車場にて、毎年恒例の献血ボランティアを行いました。

この献血活動は、地域社会への貢献活動の一環として、新入行員を主体として実施しております。



●佐賀大学との産学連携締結式

平成18年11月1日、国立大学法人 佐賀大学（学長 長谷川 照）と産学連携協力に関する協定を締結しました。これは、相互に協力して佐賀大学の研究成果等を地域社会に一層円滑に還元すること及び緊密な情報交換等を行うことにより地域の産学連携を推進し、もって地域中小企業等及び地域社会の発展に貢献することを目的としています。今後、①佐賀大学の研究成果等のシーズと地域中小企業の技術ニーズとのマッチングコーディネート②佐賀共栄銀行の取引先企業からの技術相談に関する支援③地域中小企業ニーズの情報収集及びそれに対する情報提供等を積極的に推進してまいります。

※「産学連携活動」：新技術及び新産業の創出を通じた社会の持続的発展を目的として、大学と企業等が連携することにより、大学の学術研究の成果を企業等における産業化へ結びつける活動を言います。

●投信セミナー

顧客サービスの一環として、資産運用を始めたいと考えているお客さまへの情報提供、既に資産運用されているお客さまへのフォローアップを図るため、年3回程度、投資信託に関するセミナーを実施しております。



●AED（自動体外式除細動器）

ご来店いただいたお客様のみならず地域の皆さま方が、万一、救命措置が必要となられた場合に備え、いつでも対応、ご利用ができるように3店舗（本店営業部、神野支店、県庁前支店）に設置しております。

●「耳マーク」表示板

耳のご不自由な方のための「耳マーク表示板」を本店及び各営業店窓口に設置いたしました。「耳マーク表示板」を指差していただくと、窓口行員が筆談などで対応いたします。耳のご不自由な方や聴覚に不安のあるご高齢者が安心してお取引いただくための、優しい窓口づくりの一環です。また、「耳マーク」シールをご用意し、ご希望のお客さまには、通帳・証書等にお貼りいたしますのでお申し出ください。



●携帯助聴器

軽度の聴覚障害者は、全国に約600万人、70歳以上では2人に1人が、耳のご不自由ということです。銀行窓口には、ご高齢者のご来店も多く、ご安心してお取引いただくため携帯助聴器を各営業店窓口に設置いたしました。